

現代社会

第1問 問1

サービス貿易の形態を、具体的事例で考察する問題

問1 マツキさんは研修先の町で日本の回転寿司チェーンの支店を見かけ、サービスが国境を越えて展開される際のルールに関心をもち、調べた。ある条約は、サービス貿易を次のⅠ～Ⅳの四つの形態に分類し、締約国はそれに従い自由化の約束を行っている。後の研修先でのマツキさんの行動のなかの「ア」～「ウ」にはⅠ～Ⅳのいずれかが入る。「ア」～「ウ」に入るものの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 1

Ⅰ 越境取引

サービス提供者が自国にとどまり、通信手段を用いて、他国にいる消費者にサービスを提供する。

Ⅱ 国外消費

サービス提供者が自国にとどまり、他国から自国に来た消費者にサービスを提供する。

Ⅲ 商業拠点設置

サービス提供者が他国に商業拠点を設置し、その拠点を通じてサービスを提供する。

Ⅳ 人の移動

サービス提供者である人間が他国に移動し、その国でサービスを提供する。

研修先でのマツキさんの行動

日程	行動内容	形態
1日目	研修先の町の歴史について知ろうと、現地旅行会社が主催する観光バスツアーに参加した。	ア
2日目	研修先の町の伝統工芸品を、日本の運輸会社の現地支店を利用して日本の自宅に送った。	イ
3日目	憧れの日本人ピアノ奏者が、日本から研修先の町を訪れて開催した単独コンサートを聴きに行った。	ウ

- ① アーⅠ イーⅡ ウーⅢ
 ② アーⅠ イーⅢ ウーⅣ
 ③ アーⅡ イーⅢ ウーⅣ
 ④ アーⅡ イーⅣ ウーⅠ
 ⑤ アーⅢ イーⅡ ウーⅣ
 ⑥ アーⅢ イーⅣ ウーⅡ
 ⑦ アーⅣ イーⅠ ウーⅡ
 ⑧ アーⅣ イーⅠ ウーⅢ

出題の特徴

条約で分類されているサービス貿易の四つの形態について、その具体的な事例と関連づけて考察する問題でした。四つのサービス貿易の形態の説明を読み取り理解したうえで、それを高校生の研修先での行動という具体的な事例に置き換える力が求められました。

指導のご提案

抽象的な概念を、具体的な事例に置き換えたうえで考察する力は、共通テストにおいて複数の問題で求められました。学習した概念は具体的な事例では何をさしているのか、逆にニュースなどで取り上げられている事象を抽象化させるとどの学習事項と関連するのかといったことを考える習慣をつけておくと、このような問題に対応することが可能です。学校での学習だけでなく、普段の生活で見聞きするニュースについても主体的に調べ、自分のなかで整理しておくようにしましょう。

教材のご紹介

2023年度大学入学共通テスト「現代社会」

受験者数: 64,651人
 平均点: 59.46点
 標準偏差: 16.00



教材のご紹介…「2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 現代社会」

具体的な事例を、抽象化して考察する問題

第2回 第1問問1

問1 Tさんは、現代社会の授業ノートをカードにまとめる作業を始めた。

カードI：授業で習った日本の社会制度のなかで特に興味深いと思った制度

ア 18歳以上の男女に保障されている参政権

理由：何年前かに満20歳から満18歳に引き下げられたから。

イ 高所得者に対して高い税率を課す累進課税制度と、生活保護を中心とした社会保障制度を整備し、所得の再分配を行うしくみ

理由：貧しい人を救うしくみだからいいなと思った。

ウ 議員の男女比率が平等になるように、政党に立候補者の男女比をそろえるよう努力を求めるクォータ制

理由：国会で多様な意見が反映されやすくなると思ったから。

次の授業で、それぞれがまとめたことを発表し終えたあと、先生が次のように言った。

「これまでいろいろな社会の制度について学習してきましたが、みなさんにとって質問です。それらの制度は、どうして『正しい制度』だといえるのでしょうか？ そういえる根拠を自分なりに調べて説明してください。」

途方に暮れたTさんは、大学生の姉に相談した。すると、姉が大学で使っている政治哲学の教科書とプリントを貸してくれた。Tさんは、それを読んで20世紀後半のアメリカの思想家ロールズが『正義論』において展開した公正としての正義の原理に興味を持ち、その特徴をカードIIにまとめた。

カードII：ロールズが考えた公正としての正義にかなう原理

- (1) すべての人に、政治的自由、言論の自由、人身の自由、個人的財産といった基本的諸自由に対する対等な権利が保障される必要がある。
- (2) 格差や不平等は、最も恵まれない人々の状況の改善に最大限役立つ場合にだけ正当化される。
- (3) 職務と地位に関するアクセスがすべての人に公平に開かれている（公正な機会の均等を保障する）必要がある。

Tさんは、カードI中の記述ア～ウの内容をカードII中の記述(1)～(3)の内容に照らし合わせてみた。そのうち、アは、参政権という政治的自由を一定の条件を満たしたすべての人に保障しているという内容で、(1)に合致していると考えた。続けて、イを(2)と、ウを(3)と照らし合わせ、社会の制度とロールズが考える公正としての正義の内容が合致しているか否かを検討した。合致していると考えられる記述の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① イと(2)、ウと(3) ② イと(2)
③ ウと(3) ④ 合致しているものはない

3つのSTEPで攻略！

STEP 1
設問文から何が問われているかを理解しよう

STEP 2
資料を読み取り、既存の知識と関連づけよう

STEP 3
選択肢を確認しよう

解答解説

重要な問題は、ステップを
ふんで解説しています

共通テスト 対応力 UP!!

比較

第1問 問1 1 正解④ 日本の社会制度とロールズの公正

STEP 1 設問文から何が問われているかを把握しよう

Tさんは、カードI中の記述ア～ウの内容をカードII中の記述(1)～(3)の内容に照らし合わせてみた。そのうち、アは、参政権という政治的自由を一定の条件を満たしたすべての人に保障しているという内容で、(1)に合致していると考えた。続けて、イを(2)と、ウを(3)と照らし合わせ、社会の制度とロールズが考える公正としての正義の内容が合致しているか否かを検討した。合致していると考えられる記述の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

カードIのイ・ウとカードIIの(2)・(3)の内容をそれぞれ比較し、合致している組合せを調べ。

STEP 2 資料を読み取る

カードI：授業で習った日本の社会制度のなかで特に興味深いと思った制度
ア 18歳以上の男女に保障されている参政権
理由：何年前かに満20歳から満18歳に引き下げられたから。
イ 高所得者に対して高い税率を課す累進課税制度と、生活保護を中心とした社会保障制度を整備し、所得の再分配を行うしくみ
理由：貧しい人を救うしくみだからいいなと思った。
ウ 議員の男女比率が平等になるように、政党に立候補者の男女比をそろえるよう努力を求めるクォータ制
理由：国会で多様な意見が反映されやすくなると思ったから。

高所得者に高い税率を課すことで社会保障制度を整備し、低所得者へ所得の再分配を行うのは、恵まれない人々の状況の改善につながる制度である。
法的には男女の抽選率に違いがないにもかかわらず、立候補者の男女比をそろえるよう努力するのは「結果の平等」を志向する制度である。

カードII：ロールズが考えた公正としての正義にかなう原理
(1) すべての人に、政治的自由、言論の自由、人身の自由、個人的財産といった基本的諸自由に対する対等な権利が保障される必要がある。
(2) 格差や不平等は、最も恵まれない人々の状況の改善に最大限役立つ場合にだけ正当化される。
(3) 職務と地位に関するアクセスがすべての人に公平に開かれている（公正な機会の均等を保障する）必要がある。

最も恵まれない人々の状況の改善に役立つ場合に限り、格差が正当化される。

STEP 3 選択肢を確認しよう

- ① イと(2)、ウと(3) ② イと(2) ←
③ ウと(3) ④ 合致しているものはない

共通テスト対策
実力完成 直前演習

2024
共通テスト
60分×6題
現代社会

2024版は6月発刊予定で、
4月から見本請求の受け付けを開始します。

定価880円(税込み)